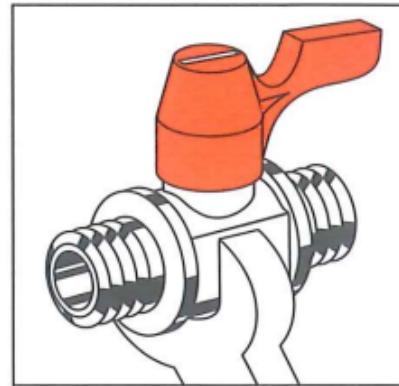


1.配管接続時には

- ボール弁は流れ方向は有りませんがハンドル操作に十分なスペースを取ってください。
- バルブ前後の配管パイプのズレが、配管後のバルブに、無理な曲げが掛からない様にしてください。
- ネジ部には必ずシールテープ等のシール剤を使用してください。
- パイプ配管時は、バルブに合ったスパナをご使用ください。
※ バルブをバイスにくわえたり、パイプレンチに掛けることは、絶対に避けてください。
- 配管側のネジ部を緩める力が過大の場合、バルブ本体の接続部に緩みが生ずる可能性が有りますのでご注意ください。
- ホース(チューブ)接続は、ホースニップル部を上下、左右にあおるなどの無理な挿入を避けてください。尚、ホース(チューブ)は十分挿入後、ホースバンド等にて固定してください。



2.通常運転前には

- バルブを全開にして管内の異物除去の為、フラッシング作業をしてください。

3.ハンドル操作は

- ハンドルトルクは適度に軽いので、強い力で廻し過ぎないでください。(部品が破損する恐れが有ります)

注意

バルブの不適切な選択又は取り扱いは、人体やシステムに故障・損傷を与える恐れが有ります。

システム設計者及びユーザーの責任と権限による判断のもとに、使用されるシステムとの適合性や使用条件を考慮の上、バルブを選定し、適切な取り付け、操作及びメンテナンスを行って下さい。